

森本社宅・寮を建替

CNとSDGsに貢献

松井建設

松井建設は、北陸支店が所管する森本社宅・寮を建て替える。施工・供用の両面で環境低減策を積極的に取り入れ、カーボンニュートラルの実現とSDGs（持続可能な開発目標）に貢献する。また、施設機能を刷新することで居住空間を改善し、社員の福祉増進と就業意欲の向上につなげるほか、BCP（事業継続計画）の観点から有事の支店代替拠点としての機能も果たす。

規模はRC・木造混構造3階建て延べ1423平方メートルを想定している。1階にはエントランスやトランクルーム、風除室、物置などを配置。2階は単身用の1Kタイプ12室とトレーニングルーム、3階は家族用の2LDKタイプ4室と防災室（BCP対応）、ゲストルーム、備蓄倉庫で構成する。

環境面では、CLT（直交集成板）などで石川県産の木材を使用する。ZEH-1M（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス・マンション）認証に向けて、太陽光発電システムや電気自動車・蓄電池による蓄電、外壁、屋根、開口部の断熱強化、LED照明、自動消灯制御、高効率空調、全熱交換形換気機器などを導入する。

自然災害に備えて直圧給水、雨水貯水タンク、マンホールトイレなどを備蓄する。

設計・施工は同社。20日に地鎮祭を開く。2023年4月の完成を予定している。建設地は石川県金沢市堅田町地内。

